

## 第4回岩手県地域公共交通活性化協議会 議事要旨

### 1 日時

平成31年3月14日（木） 14:00～15:00

### 2 場所

盛岡市（岩手県公会堂 2階26号室）

### 3 主な議事内容

- (1) パブリックコメントの実施結果について
- (2) 岩手県地域公共交通網形成計画（案）について

### 4 主なご意見等

- (1) パブリックコメントの実施結果について
  - ・ 配車アプリなどを活用した公共交通については、県内において既に15社、594車両が対応しており、それを踏まえた回答を行うようお願いしたい。  
⇒（事務局）表現について検討したうえでそのように回答することとしたい。
- (2) 岩手県地域公共交通網形成計画（案）について
  - ・ 資料2-2の109ページ、「高齢者に対応した利用促進」の項目について、現在警察で把握している運転免許の自主返納者に対する利用促進の取組数と、計画記載の取組数に違いがあるが、その差は何か。  
⇒（事務局）109ページの事業については、県内で実施されている全ての事業を載せる訳ではなく、県の計画であることから、幹線路線や広域バス路線に効果のあるものを掲載している。
  - ・ 111ページの「目標を実現していく体制づくり」について、警察では昨年10月から県内すべての交番・駐在所で免許返納の受付を行っており、警察署や免許センターから遠い方の利便性の向上を図っている。また今年の3月1日から、各市町村の地域包括支援センターにおいて、運転免許を自主返納し、その後の足の確保に困る方については、本人の承諾を得て、地域包括支援センターに氏名住所等の情報を提供している。これについて、「目標を実現していく体制づくり」の項目に載せていただけないかご検討いただきたい。  
⇒（事務局）「目標を実現していく体制づくり」ではなく、「高齢者に対応した利用促進」の項目に載せる方向で考えたい。

- ・ 「高齢者に対応した利用促進」について、タクシーの場合は、平成 26 年度の運賃改定から 65 歳以上の運転免許返納者は全員 1 割引としていることから、この事業を計画に載せることはできないか。

⇒（事務局）県の計画であることから、広域的な運行をしている広域バス路線等に限定して記載している。
- ・ 資料 2-2 の 54 ページ、JR 在来線の平均通過人員のグラフについては、再度数値を確認したい。
- ・ 計画の指標として、「ノンステップバスの導入率」があるが、目標値を 38% としている理由をお聞きしたい。国では、32 年度末までに約 70% にする目標を掲げており、現在全国では 53.3% となっている。

⇒（事務局）ノンステップバスの導入が全国的に進んでいる一方、県内の数値は高くなく、交通事業者の車両購入の見通しなども考慮し、急に進展することは難しいと考え、現実的な数値を設定したところ。現在の東北地方の平均を上回る数値となるよう、1 年間に 3% ずつ上げていく数値目標としている。

また、県の次期総合計画の政策推進プランの目標として掲げている数値でもあり、整合性を図っている。

⇒事情は理解したが、目標数値を上回ることができるよう努力いただくことを願っている。
- ・ 106 ページの「観光誘客による公共交通の活用」について、「外国人旅行者を対象とした鉄道、バスを活用した周遊パスの販売」の実施主体を、県、岩泉町、交通事業者、旅行事業者、としているが、今後は岩泉町に限らず多くの市町村で実施される可能性があることから、「岩泉町」を「市町村」に置き換えることはできないか。

⇒（事務局）「市町村」に置き換える方向で考えたい。
- ・ 大きな市町村以外は公共交通の専門セクションがなく、他の様々な業務を行いながら、公共交通を担当している。国としてもそのような状況の市町村を支援したいと考えており、公共交通業務についてのポイント集を作成し、各自治体に配布した。

また、多くのノウハウを持つ人材を派遣する「地域公共交通東北仕事人」という事業も行っており、これらを活用しながら県と一緒に市町村を支援し

ていきたい。

⇒（事務局）今後バス担当者研修会などの開催を予定しており、是非東北運輸局の方にも講師をお願いできればと考えているため、その際は御協力をお願いしたい。

- ・ JR東日本の新幹線・在来線のグラフや、隣のページの乗合バスの利用者数のグラフについて、平均通過人員に合わせた方が比較しやすいと思う。  
⇒（事務局）データを取得できるか確認のうえ、対応したい。
- ・ 56 ページの高速バスの運行路線の一覧について、仙台平泉線の運行事業者が岩手急行バスとあるが、昨年の11月末以降は運行していないため、削除していただきたい。